

# もみじ

— 広島県山岳連盟会報 —



一般社団法人 広島県山岳連盟

〒733-0011 広島市西区横川町 2 丁目 4-17

電話・FAX (082) 296-5597

E-Mail: hgakuren@lime.ocn.ne.jp

URL

http://hiroshima-gakuren.or.jp

郵便振替口座 01380-6-37958

## 平成 26 年度定期総会開催

### 平成 25 年度決算

### 事業活動収支差額 3,320,472 円

日時：2014 年 5 月 24 日 (土) 15:30

場所：ホテルチューリッヒ東方 2001

平成 26 年度定期総会は 5 月 24 日 (土) 午後 3 時 30 分からホテルチューリッヒ東方 2001 で開催された。

開会に先立ち、豊田事務局長から「出席者 29 名、委任状提出 19 名で定款によりこの総会は成立している」と報告があった。京才会長があいさつの後、京才会長を議長に選出し議事に入った。議事に先立ち名越氏の遭難に関して、名越氏夫人、久保広島山岳会会長から挨拶があった。

議題及び主な内容は次のとおりである。(詳細は総会配布の資料を参照ください)

#### 議題

- 1、平成 25 年度事業報告
- 2、平成 25 年度決算報告・監査報告
- 3、役員変更
- 4、平成 26 年度事業計画
- 5、平成 26 年度予算案
- 6、定款等改訂

### 第 1 号議案 平成 25 年度事業報告

#### 京才会長、旭日双光章受章

##### ①事務局 (豊田和司事務局長)

4 月 29 日、山岳競技の普及に努めた功績により、京才昭会長が旭日双光章を受章された。事務局はボランティア体制で運営し、会報もみじを発行した。



写真は左から野島、山田、京才、綿谷の各氏

#### 主な目次

定期総会開催 1 決算報告 2 役員改選 3

事業報告 2~4 第 22 回比婆山スカイラン 3

アジア山岳連盟 UAAA 4

平成 26 年度予算案・定款改訂 4

総会出席者名簿 5

**第 22 回比婆山スカイラン** (記録) 5

山に登ることの意義 松島宏 (中国新聞夕刊でるた)

遭難捜査に思う 綿谷弘志 7

クライミング報告 安松 崇 7

**岳連短信** 8 月 11 日は「山の日」 8

第 13 回ひろしま「山の日」県民の集い 8

**事業報告****登山教室 受講生が少ないため 26 年度中止****②指導部 (後藤裕司理事)**

## 1、指導・遭対委員会

講習会・研修会 3 回 (延受講者数 63 人)、日山協主催講習会・研修会 2 回 (延参加者 3 人)

## 2、事業委員会

クライミングスクール 9 回 (延受講者 103 人)

登山教室 10 回 (延受講者 50 人)、机上講習会 12 回 (延受講者 153 人)、岳連例会山行 17 回 (延参加者 128 人)、クライミングビギナーレッスン (県立総合体育館) 12 回 (延参加者一般 160 人、小中高生 26 人 計 186 人)

登山教室は、受講生が少ないため平成 26 年度は中止とし、1 年間再開に向けて検討する。

**第 21 回比婆山スカイラン 902 人申し込み****③普及部 (永津信吉理事)**

雲月山 山焼きボランティア (4・10 残雪のため中止)、第 21 回比婆山スカイラン・登山フェスティバル (5・18・19 申し込み 902 人、雨天実施)、第 12 回ひろしま山の日県民の集い (6・1 北広島会場登山道整備 19 名参加)、平成 25 年度自然保護委員会総会 (埼玉県) (9・14~16 福永、森参加)、広島県自然保護研修会 (11・16 西区民文化センター 32 人参加) などの報告があった。

**フォト俳句 ⑩**

来た道をそろり振り向く夏の峰

俳句・写真 江種幸男

**国体など 11 大会出場****競技部 (伊東奉文理事)**

第 68 回国民体育大会 (東京都東久留米市) 出場など 11 大会出場、(延 118 名)、日山協主催講習会・研修会参加 4 名、スタッフ派遣 (延 15 人) 等に出場、参加した。

**八公山フェスティバル (韓国) 参加など****国際部 (豊田和司理事)**

比婆山スカイラン日韓交流 (5 名参加)、日韓高校生交流 (7・22~26 24 人参加)、八公山フェスティバル参加 (10・4~7 6 人参加)、山岳辺境セミナー (10・19 竹内岳洋氏 210 人受講)。

**「山の日」県民の集いに参加 70 人****県東部 (綿谷弘志理事・福山山岳会長)**

第 12 回ひろしま「山の日」県民の集い (6・2 ふくやふくやま市民ふれ愛ランド 70 人参加) 安全登山研修会 (6・15 ふくやま市民参画センター 54 人参加)、合同登山 (11・24 高増山 新市山岳会 37 人参加)

**高体連 (資料報告)**

男子修道、女子基町がインターハイ出場権獲得など。

以上異議なく承認された。

正味財産合計 24,295,811 円

**第 2 号議案 平成 25 年度決算報告・監査報告**

事務局から「決算報告書第 5 期自平成 25・4・1 至 26・3・31」により次の通り報告があった。

貸借対照表 (平成 26・3・31) カッコ内は前年度

資産の部 (流動資産の部) 24,295,811 円 (20,976,339 円) 負債の部 0 (0) 正味財産の部 24,295,811 円 (20,975,339 円)

**財産目録**

流動資産 現金 59,261 円 預金 5,955,696 円 特別会計預金 18,231,582 円 仮払金 108,533 円 資産合計

24,295,811 円 負債合計 0 正味財産 24,295,811 円

収支計算書総括表

区分	事務局	指導部	普及部	競技部
収入	1,242,314	41	33	4,791,063
支出	2,907,059	0	0	2,077,839
収支	△ 1,664,745	41	33	2,713,224

区分	国際部	事業部	比婆山スカイラン	合計
収入	329,351	2,159,414	4,695,288	13,217,504
支出	668,729	624,506	3,618,899	9,897,032
収支	△ 339,378	1,534,908	1,076,389	3,320,472

監査報告 (野々下耕生監事)

平成 5・4・1 から平成 26・3・31 までの一般社団法人広島県山岳連盟の会計内容について、通常必要と認められる会計基準に従って監査した結果、執行状況及び財務は適正に処理されていると認めました。

平成 26 年 3 月 24 日

監事 林 雅春  
監事 野々下耕生

以上異議なく承認された。

小田・西部理事、亀井監事新任

理事 18 名、監事 2 名承認

第 3 号議案 役員改選 (山田雅昭理事長)

事務局から次の通り「一般社団法人広島県山岳連盟名誉役員・監事・理事名簿 (案)」が提案され承認された。

名誉役員 推薦なし  
顧問弁護士 溝手  
顧問ドクター 松下  
顧問トレーナー 片山

監事 野々下耕生 (税理士) ○亀井旦博 (広島山岳会)  
理事 京才 昭 (広島山岳会) 山田雅昭 (広島山岳会)

野島信隆 (マツダ) 岡谷良信 (JAC)  
松島 宏 (登山研究所) 伊東奉文 (修大)  
豊田和司 (JAC) 香川正臣 (マツダ)  
綿谷弘志 (福山山岳会) 村井 仁 (県庁山の会)  
仲井正美 (ひこばえ) ○小田里子 (JAC)  
○西部伸也 (高体連) 後藤裕司 (廣大)  
宇山茂之 (庄原) 佐藤建 (修大)  
新山まゆみ (JAC) ○新任

林監事、名越、福永理事退任

退任

林雅春 (監事)、名越實 (理事)、福永やす子 (理事)

第 4 号議案 平成 26 年度事業計画案

広島山岳平和祭 11 月 22 日～11 月 25 日開催

1、事業方針

日本山岳協会 (JMA) が提唱する「安全登山の啓発」、「山の環境保全」、「山岳文化の発展」に寄与する。

2、重要計画方針

(1) 指導部、事業体制の見直しを図る

①指導員養成及び安全登山のための、各種講習会・研修会を開催し、事業委員会ほかが行う事業に対し登録指導員の派遣を行う。

岳連短信

第 22 回比婆山スカイラン 2014・5・18

写真提供 小林敏行 (可部山岳会)



①登山教室の応募人数が 20 人未満のため、今年度は登山教室を休止とした。1 年がかりで再開へ検討。

(2) 山岳共済の促進

「減遭難」対策に引き続き取り組むとともに、広く山岳共済への加入促進に努める。

(3) 安定した財政基盤の確立

自主財源の確保と経費節約を促進する。

3、「アジア山岳連盟 (Union Asia Alpsme Associations (UAAA) 総会・創立 20 周年記念式典)

(広島山岳平和祭) を開催する。

日時：2014 年 (H26) 11 月 22 日 (土) 11 月 24 日

(月) (スタッフは 11・26 (水) までの協力が必要。)

主催：公益社団法人 日本山岳協会

主管：一般社団法人 広島県山岳連盟

場所：アステールプラザ

730-0812 広島市中区加古町 4-17 082-244-8000

参加費：20,000 円

但し、会議費・11・22 (土) 懇親夕食会・11・23 (日) 記念祝賀会・23・24 昼食代 (22・24 (月) の宮島への交通費は含みません。)

2014 アジア山岳連盟 (UAAA) 総会・創立 20 周年記念式典概要

11・22 (土) 14:00~17:00

各団体別自然環境連絡会

11・23 (日) 10:00~11:30

山岳平和祭 平和記念公園

13:30~16:30 UAAA 創立 20 周年記念行事

アステールプラザ

18:30~21:00 UAAA 祝賀会

リーガロイヤルホテル

11・24 (月) 8:30~15:00 宮島・厳島神社参拝

11・25 (火) 9:00~12:00 UAAA 総会 (役員)

アステールプラザ大会議室

13:30~16:30 UAAA 総会

アステールプラザ大会議室

18:30~さよならパーティー (文化交流会館)

(詳細は定期総会資料 18 頁を参照)

第 5 号議案 平成 26 年度予算案

第 5 号議案 平成 26 年度予算案

2014.05.19 現在

一般会計		平成 26 年度 広島県山岳連盟 予算案						
		繰越金	事業収入	事業支出	事業収支	他会計から	他会計へ	最終収支
		A	B	C	D=B-C	E	F	A+D+E-F
事務局	事務局運営	726,135	1,250,000	3,000,000	-1,750,000			-1,023,865
	県東部	156,005	25,000		25,000			181,005
	旧指導部	232,032	0	0	0			232,032
	旧登山部	130,547	0	0	0			130,547
	UIAA	189,251	0	0	0			189,251
	小計	1,433,970	1,275,000	3,000,000	-1,725,000			-291,030
事業部	研修		380,000	230,000	150,000			150,000
	トレーニングスクール		480,000	340,000	140,000			140,000
	登山教室		400,000	200,000	200,000			200,000
	岳連山行		210,000	150,000	60,000			60,000
	小計	1,505,046	1,470,000	920,000	550,000			2,055,046
普及部	一般	212,958	5,000	0	5,000			217,958
	小計	212,958	5,000	0	5,000			217,958
競技部	一般	42,965	200,000	168,500	31,500			74,465
	国体応援	2,708,951	0	100,000	-100,000			
	小計	2,751,916	200,000	268,500	-68,500			2,683,416
国際部	一般	51,806	450,000	500,000	-50,000			1,806
	小計	51,806	450,000	500,000	-50,000			1,806
	合計	5,955,696	3,400,000	4,688,500	-1,288,500			4,667,196

特別会計								
国体強化 (競技部)	0	1,180,000	1,180,000	0				0
ジュニア強化 (競技部)	0	811,000	811,000	0				0
比婆山スカイラン	1,845,674	5,000,000	3,600,000	1,400,000				3,245,674
遭難対策基金 (事務局)	6,543,336	400	0	400				6,543,736
山岳環境保全基金	1,097,449	50,000	0	50,000				1,147,449
法人化基金 (事務局)	8,745,123	600	0	600				8,745,723
	合計	18,231,582	7,042,000	5,591,000	1,451,000			19,682,582

総計	24,187,278	10,442,000	10,279,500	162,500				24,349,778
----	------------	------------	------------	---------	--	--	--	------------

平成 26 年 5 月 19 日 事務局長 豊田 和司

第 6 号議案定款改訂 (山田雅昭理事長)

「一般社団法人広島県山岳連盟定款」第 21 条第 2 項を次のように改訂する。

新条文

第 21 条

2 議長は、前項の議事録に記名押印する。

旧条文

第 21 条 社員総会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議長及び出席した理事は、前項の議事録に記名押印する。

以上異議なく承認された。

その他

次のような質疑があった。

1、広島山岳平和祭の会費 2 万円の内訳は

一会費・11・2(土)懇親夕食会・11・23 (日) 記念祝賀会・23・24 日昼食代である。創立 20 年記念なので

加盟団体からの多数の参加を希望している。

**2、アジア山岳連盟創立 20 周年記念式典に関連して  
寄付金募集をしてはどうか。**

一昨今の経済情勢なので寄付金は多くが望めない。商品などの現物寄付を考えている。

**平成 26 年度総会出席者名簿 (順不同・敬称略)**

久保信義 (広島山岳会) ・小林敏行 (可部山岳会)  
綿谷弘志 (副会長・福山山岳会) ・菊間秀樹 (広島県  
庁山の会) ・岩城正人 (マツダ親和会山岳部) ・加賀  
谷健一 (広島大学山の会) ・羽奈傳 (福山市役所山岳  
部) ・木村寛 (タンネンクラブ) ・西岡義則 (日本山  
岳会広島支部) ・木梨陽康 (東広島山の会) ・森智昭  
(ひこばえ) ・宇山茂之 (山を歩く会庄原) ・小方重  
明 (広島三峰会) ・今澤勝美 (個人会員) ・上原民樹  
(個人会員) ・富澤哲郎 (参与) ・京才昭 (会長) ・  
山田雅昭 (理事長) ・野島信隆 (副会長) ・村井仁 (理  
事) ・仲井正美 (理事) ・後藤裕司 (理事) ・永津信  
吉 (理事) ・福永やす子 (理事) ・伊東奉文 (理事) ・  
豊田和司 (理事) ・新山あゆみ (理事) ・香川正臣 (理  
事) ・野々下耕生 (監事) 以上 29 名

**写真は懇親会出席者 2014・5・24**  
写真提供 小林敏行 (可部山岳会)



場所：ホテルチューリッヒ東方 2001

**第 22 回比婆山スカイラン 大会報告**

**1、競技時間**

A コース 開始時間 10:00  
最終ランナー到着時間 13:53:23  
B コース 開始時間 10:30  
最終ランナー到着時間 12:34:33

**2、気象状況 (10 時時点) 天候 快晴**

スタート地点 (標高 850m) 気温 23,1 度湿度 24%  
烏帽子頂上 (標高 1225m) 気温 20,5 度湿度 29%

**3、概要**

	完走	タイムオーバー	途中棄権	欠場	計 (申込)
A 男子	452	10	15	57	534
女子	31	4	2	5	42
計	483	14	17	62	576
B 男子	151	—	7	17	175
女子	58	—	1	4	63
計	209	—	8	21	238
合計	692	14	25	83	814

**4、記録**

**A コース(18,5 k m)総合成績 (男子)**

順位、氏名、所属、記録 (時間、分、秒)

- 1、東 徹 (大和走友会) 1:36:10
- 2、浜本正明 (呉市) 1:39:5
- 3、平山賢一 (SALOMON) 1:39:35
- 4、宮本和夫 (マツダエース) 1:39:49
- 5、村上貴亮 (エネルギー豊連走) 1:43:42

**A コース(18,5 k m)総合成績 (女子)**

- 1、東 奈々 (大和走友会) 1:55:5
- 2、ドールティーリア (山口県) 2:0:56
- 3、伊藤有美子 (広島市) 2:3:27
- 4、中条さおり (岡山クラブ) 2:18:42
- 5、国清里美 (レーウ) 2:24:5

**Bコース(9km)総合成績 (男子)**

- 1、谷川延久 (海上自衛隊岩国) 44:51
- 2、茶屋孝三 (meros) 45:37
- 3、高前直幸 (寺岡整形外科病院) 46:16
- 4、若月浩貴 (福山市陸協) 47:10
- 5、村中大輔 (海上自衛隊岩国) 48:12

**Bコース(9km)総合成績 (女子)**

- 1、河元直美 (広島市) 57:29
- 2、三宅陽香 (本郷アスリートクラブ) 59:4
- 3、倉本加奈 (CHASKI) 1:1:16
- 4、田中理沙 (JTH) 1:5:27
- 5、岡田雅子 (兵庫県) 1:6:12

中国新聞 (夕刊) でした 2014・3・18 掲載

**山に登ることの意義**

松島 宏

山好きの父の影響で山を登り続けて50年が過ぎた。登山はなぜ人を魅了するのだろうか。

私の山登りは広島近郊の里山ハイキングから始まった。家族で弁当持参の普通の登山だ。頂上までの登りはつらいが、山頂からの絶景と、持参したおむすびのうまさが忘れられない。大学生になり山岳部に入り岩登りや雪山に没頭した。命がけの登山はスリリングで生きている実感が強く、虜になった。冒険や挑戦は楽しい。リスクは高いが乗り越えれば果実は大きい。

10年前に教師を辞め、人を山に誘う登山ガイドになった。山に登るたびにほっとするのはなぜだろうか。山に登ることの意義は何かと考え続けてきた。自然の中での活動が心地よいのは人間自身が自然の一部だからだという結論に至った。地球が誕生し、海ができ、生命が誕生した。三十数億年前だ。生物は海の中で進化し、陸に上がってわれわれの祖先の猿にな



比婆山スカイラン 出雲峠 写真提供 仲井正美



比婆山スカイラン 写真提供 小林敏行

り、ヒトになった。我々だけが特別なのではない。山に入るとそのことを実感する。

先日、登山仲間が遭難した。搜索のため長野県の上高地から横尾尾根に登った。悪天候を前に下山すると、ニホンザルの群れが雪の中で葉をついばんでいた。友を連れて帰れなかったが、サルを見て少し心が救われた。それは何百万年か前のわれわれの姿なのだ。過酷な自然の中で様々なリスクを背負いたくましく生きている。

数百万年前にわれわれは文明を持った。自然を壊し、家や街をつくった。しかし、自然の驚異、悪天候や地震、津波にはひとたまりもない。油断をせず、人間の原点を忘れないためにも山に登ること、自然の中で遊ぶことをお勧めする。(広島登山研究所代表=広島市)

## 遭難捜索に思う

## 横尾尾根

## 福山山岳会会長 綿谷弘志

(5・22 に受領)

毎年の事とはいえ大型連休中の山岳遭難事故は後を絶たない。今年もGW中の山岳遭難者は北アルプスを中心に13名を数えた。関係者の悲しみ、心労、混乱は如何ばかりであろうか。

5月2日夜、福山駅北口から福山山岳会の仲間5名が北アルプスへ向けて出発した。昨年暮遭難した広島山岳会の名越實氏の捜索の為である。広島山岳会関係者は遭難時の捜索から二度目、福山山岳会としては初参加になる。広島山岳会も福山山岳会と同じ広島県岳連の傘下であり、今回の捜索は広島県岳連の依頼、指示に拠るもので、福山山岳会としては16名の仲間が捜索隊参加を申し出ていた。

21年前(1993・12・26)大山での遭難事故で福山山岳会の仲間4名(平均年齢35歳)が遭難した時、多くの捜索隊の中で広島山岳会の名越實氏も我々と共に元旦を挟んで、懸命に捜索活動してくれた。その時の恩を忘れてはならない。風化させてはならない。彼を捜し出す為に可能な限り頑張る。連れて帰りたい。(談 CL・黒飛晴光) <後日、詳細な捜索報告書を提出されました>

広島山岳会と福山山岳会とは先輩達が築かれた深い絆があります。「福山山岳会の方々に受けた数々の恩義は代々の会長に引き継ぎ、語り継がれております。」(談 広島山岳会第4代会長・三好忠行) 大山遭難事故の時、いち早く田内会長(当時)は出動要請されました。私は名越實氏とも宝珠尾根と一緒に捜索しました。今回、彼を連れて帰る事は叶いませんでしたが広島山岳会の組織、田内元会長、亀井遭難対策現地本部長始め広島山岳会に当時に受けた恩義・絆は今後も引き継がねばと思います。困難な時にこそ、お力になりたいと思います。(談 福山山岳会 第10代会長・福原不二雄)

本格的な冬山装備は重厚である。しかも捜索と云う行動の為に装備は増加する。共同装備の大型テント、ザイル、ゾンデ棒、ビーコン他諸々、個人装備も冬山装備一式は当然として食料8食分、行動食5食分、他に非常食等全てを準備しての捜索活動である。相当の体力、忍耐力を必要とし更に福山山岳会の捜索範囲は夏山登山でも厳しい横尾尾根一帯であり、特に今年は残雪が多く、雪崩等二次遭難の危険性を孕んだ悪条件が重なっていた。大量の荷物を車に積み込む仲間たちの姿を見守る我々家族を含めた6人に出来る事は「気をつけて・・・どうか無事で・・・」と念ずるしか他に為す術も無く傍観するのみだった。

今回の捜索隊、ご家族の方々、我が会を含め県岳連関係総勢37名の全員無事に帰着の連絡を受けた時、安堵の想いと同時に胸が熱くなった。(岳連副会長)

第2次捜索参加隊員氏名 CL黒飛晴光 SL越智秀之・福原不二雄・金 成萬・藤田泰三

参考資料 「煌めきの氷壁」「はいまつ12号 <先輩の功績>」より抜粋 (文中敬称略)

## クライミングスクール報告

## あきらめずにチャレンジ

## 個人会員 安松 崇

事前の天気予報では天候が心配されましたが、雲ひとつない快晴。絶好のクライミング日和でした。

ロープワークの復習の後、いよいよトップロープでのビレイとクライミングの練習が始まります。班分け後、ナメラ岩の3つロープが設置されたルートの中で一番難しい課題を最初に登ることに。「ええっ。ここをいきなり」クライミングはインドアを含めて未経験。登れるのか、不安でしたが、でもそれ以上に登りたい気持ちが高まりました。

まずビレイの練習。先生の実演を頭で理解したつもりでしたが、実際やるとなかなか難しい。手さばきがなかなかスムーズにできない。またクライマーが登りやすいように一步先を読みながら、ロープ操作だけでなく、声掛けをするなど、隣でアドバイスを頂きながらサポートしてもらいました。

そしていよいよ登る番です。はじめのうちは余裕がありましたが、中間より少し上の地点で難所が立ちほだかります。足の置き場所が分からない。手もしっかりと置けない。どう登ろうかパニックです。そして、初めてのフォール。「もうダメです」と下の先生に叫ぶと、「ダメはダメヨ」とスパルタな一言に、一呼吸入れ、もう一度冷静に脚の置く位置、しっかり握れるホールドを考え、その場所を越え何とか終了点まで到着しました。諦めずにチャレンジして良かったです。

その後何回か、トプロープでのビレイ・クライミングの練習、リードクライミングでのビレイの体験を行いました。回数を重ね、少し自信を持った部分、反省しなければならぬ点がありました。クライミングの難しさと面白さを痛感しました。

クライミングは、体力だけでなく、パートナーとの信頼関係、冷静に対処できる判断力を必要とされるスポーツなのだ実感しました。まだ始まったばかりですが、それらを身に付けることができるよう頑張ります。

### 岳連短信

#### 1、8月11日は「山の日」

##### 改正祝日法 16年から実施

2016年から8月11日を『山の日』と定める改正祝日法が5月23日の参院本会議で賛成多数により可決、成立した。8月の制定は初めてで、祝日がないのは6月だけとなる。改正は4月29日を「昭和の日」に、5月4日を「みどりの日」にそれぞれ定めた05年以来。年間の祝日は計16日に増える。改正案は超党派の「山の日」制定議員連盟がまとめ与野党の全9党が共同提出した。「海の日」(7月第3月曜日)と同様、自然に親しむ祝日を設けるのが目的。山の日を「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」と明記した。

#### 2、第13回ひろしま「山の日」県民の集い

##### 深入山ハイキングなど

第13回ひろしま「山の日」県民の集いは6月1日安芸太田町をメイン会場に県下12市町13会場でグラウンドワーク他盛り沢山の行事が行われた。

広島山岳連盟としては、5月31日北広島町会場で臥

龍山の登山道整備を行い、6月1日安芸太田町で深入山ハイキングを行いました。

深入山グリーンシャワーであった開会式には約350人が参加。地元の筒賀小学校の児童4人が「広島の豊かな山で生まれた水は豊かな川となり、瀬戸内海や日本海へ注ぎ、魚や貝を育む。山がよくなる運動にしたい」と力強く宣言した。ハイキングには12人が参加、京才会長の挨拶の後、深入山に登頂。「山での歩き方、山歩きの計画準備」などのミニ講座(森・山村・野島講師)があり、森林散策で汗を流した。

### 山の風景 42 ひろしま「山の日」深入山頂上

2014・6・1 写真提供 森 智昭 (ひこばえ)



### 7月行事予定

- 7・9 (水) 第4回運営会議
- 7・13 (日) 第4回クライミングスクール
- 7・23 (水) 第8回UAAA会議
- 7・26 (土) 岳連例会山行(犬戻峡)

### 編集部より

○この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想・写真など気軽にお寄せください。編集の都合で一部手直しすることがあります。ご了承ください。

題字デザイン 今村みずほ 編集 仲井正美